

6月定例会で提案された各議案について、本会議や各常任委員会で審議を行いました。

ここでは、本会議や委員会での主な質疑の内容を掲載しています。

住まい

富寿栄住宅建て替え 物価の上昇に伴う増額

議員 時間外労働の上限規制による工期延長等の影響について、また、品質を下げた金額重視で対応することはあるのか伺います。

住宅課長 契約時に時間外労働の上限規制の改正があることを相互に確認し、法改正を前提として契約しており、現在、工期の延長予定はありません。増額は、事業契約書に基づき、物価変動による工事費の変更を要求されており、スライド条項によって対応するもので、品質を下げることなく当初求めていた要求水準に基づき事業を実施します。

議員 世の中が物価高騰だからと値上げ請求を受け入れるのではなく、中身を精査して1円でも安く適切な工事が行われるよう責任を全うしてほしい。

議員 車椅子対応など、良い住宅だと思つたため、建設費が上がったからといってグレードを下げないでほしい。



▲令和5年度に完成した富寿栄住宅の第1工区の住宅棟

行政

個人番号利用事務の連携 期待できる効果と負担は

議員 個人番号利用事務

の情報連携や庁内連携により期待できる効果と市の負担について伺います。

法務ガバナンス室主幹 連携の効果は、申請に当たって必要となる添付書類が不要となることや、手続きのための来庁が不要になることなど、申請者の利便性が向上するとともに自治体にとっても業務の効率化が図られることとなり、様々なメリットがあるものと考えています。

一方で、個人番号が含まれた個人情報、作業区域を限定して取り扱う必要があるなど、一般の個人情報よりも厳格に取り扱う必要があります。

議員 より多くの市民がマイナンバーカードの利便性を実感することで、カードの更なる取得促進が期待できることから、デジタル庁と連携を図りながら、全ての手続きが滞りなく適切に対応できる体制づくりをしてほしい。

また、今回の法改正やそれに伴う条例改正が、デジ

タル高槻市役所の実現を加速させるきっかけになり、市民サービスの向上に貢献できると考えますので、市のDXの更なる推進に向け全庁を挙げて取り組んでほしい。

福祉

療育園 定員と支援センターの機能

議員 定員の減少と児童発達支援センターとしての具体的な機能について、伺います。

子育て総合支援センター所長 定員については、これまでの在園児の利用に影響がない範囲で人数を設定するとともに、定員の範囲内において新たに知的障がい児等を対象とした通所利用枠を設けることで、就学前の障がい児とその家族に対し、より一層の支援を提供できるものと考えています。

児童発達支援センターの機能については、幅広い高

度な専門性に基づく発達支援・家族支援の機能、地域の事業所へのスパーバイズ・コンサルテーションの機能、地域のインクルージョン推進の中核機能、発達支援の入り口としての相談機能を持たせることを想定しています。



▲児童発達支援センターとして位置付けられる療育園